

令和8年度 事業計画書

第2次トランプ政権発足後、昨年4月から関税を強化したことからさまざまな国において、経済や社会情勢の混乱が起きています。これはアメリカ経済の保護であり、自国の産業活性化が狙いであり、国際貿易に与える影響は大きく、一時世界経済が混乱しました。我が国とは日米交渉により一応の合意に至り、将来に対する不確実性は幾分後退したものの依然として未定な部分も多く、引き続き注視していかなければなりません。

さらには、アメリカとイスラエルがイランに対して2月28日に攻撃を開始したことに端を発して、ホルムズ海峡の封鎖という最悪のシナリオの現実味に伴い原油価格の高騰が懸念され、世界的なインフレ再燃と景気後退が進み、物価高が加速する恐れが生じています。

また、国内では、昨年10月に就任した高市首相は、衆議院議員の任期が3分の2残っているにも拘らず、支持率が高いうちに総選挙を行い政権の安定をとる理由で、通常国会冒頭に新年度予算審議に入らずに、野党の批判を尻目にこれまでにない異例な解散を実行し、与党の絶対的安定多数を獲得しました。国民としては一刻も早く公約どおりに物価高対策等に着手し、国民が豊かに暮らせるような施策が、速やかに実施されるよう願っています。

シルバー人材センターを取り巻く環境は、全国的な人口減少や少子高齢化の進展により、会員の高齢化と粗入会率増加に伴い会員数が減少し、一層厳しい状況になっています。

このような中、当センターにおいては、中期計画2年目の令和8年度は「会員の増強」を最重要事項として位置づけ、併せて、県内での会員の就業時の傷害事故・賠償事故の増加を受けて、当センターでは事故ゼロが続いてはいるものの、「安全・適正就業の推進」についても重点項目として、会員はもとより役職員一同危機感をもって、取り組んで参ります。

そして、地域社会の多様な要望や期待に応えるべく、勝山市をはじめ関係機関からのご支援ご指導をいただきながら、会員各位のご理解とご協力を賜わり、「会員になって良かった」「シルバーがあって良かった」と思っただけのよう事業展開を行って参ります。

1. 就業機会の開拓

様々な要因から仕事のご要望にお応えできず、お断りしている状況が生じています。会員皆さんに合った、無理なく働ける新たな職種の開拓や、入会希望者の経験や興味に応じた就業分野の開拓に積極的に努めます。

また、地域に根ざしたセンターを目指し、民間企業や公共関係機関と連携・協力を密にして就業の掘り起こし（受注拡大）に努めます。

2. 安全・適正就業の推進

《安全就業意識の啓発と事故防止》

全国版：『安全は無理せず焦らず油断せず』、福井県版：『おこたるな仕事はじめての危険予知』この安全・適正就業スローガンを掲げて2年間活動して参りましたが、残念なことに令和7年度に福井県内において死亡事故が2件発生しています。

これからも『安全は全てに優先する』を理念に掲げ、『事故ゼロ』の継続を目標に毎月の安全パトロールの実施、広報誌等での安全就業の啓発、また研修会・講習会を通じて安全意識を高める活動を行い、現在継続中の無事故日数を延長できるよう推進して参ります。

- (1) 安全・適正就業委員会を定期的に開催し、安全・適正就業を推進します。
- (2) 毎月の安全パトロールの実施により、特に安全帽の着用と安全な器具の取り扱いについての実施状況の確認を徹底して行い、注意喚起を即し転落や墜落による重大事故防止に努めます。
- (3) 7月『全国安全・適正就業強化月間』に合わせて行われる連合主催の「安全・適正就業促進大会」に参加し、就業上の安全知識の習得、また勝山警察署・市交通指導委員会協力の下開催する「安全茶屋」での交通安全の再認識確認、さらには「安全・適正就業推進大会」における高齢者交通事故の傾向や体力低下による転倒事故防止などに特化した講演によりあらゆる事故の未然防止に努めます。
- (4) 『地球温暖化』による熱中症対策が毎年のように強化される現状を踏まえて、いかにして身体を守るかを一人ひとりが自覚して対応できるよう、対策法やタイムリーな熱中症警報アラート（SMS 送信）を使い重大事故発生予防を図ります。
- (5) 就業中事故の多くは、ちょっとした油断と就業環境に起因することが多いと言われていいます。「作業前のミーティングによる安全確認」の遂行や安全・適正就業にかかる講習会を通じて就業中事故の未然防止に努めます。

《適正就業の徹底》

- (1) 働く意欲のある高齢者が年齢に関わらず働き続けられるよう、就業日数や就業時間の上限等国が求める働き方を遵守し、適正就業に努めます。
- (2) 複数の高齢者が時間や日にちを分担して行う方法（ローテーション就業）や、これまで一人が担当していた業務を複数人で分け合うことで、一人当たりの業務負担を軽減し業務の効率化と生産性向上を目指す働き方（ワークシェアリング）改革推進により、会員の公平公正な就業機会の確保に努めます。

3. 広報・普及啓発活動の推進と会員の入会促進

《広報と普及啓発活動》

センターの広報誌の発行や勝山市報に広告の掲載など、シルバー人材センターに興味をもっていただけるよう、ホームページや機関誌を活用して参ります。

- (1) 会報「年輪」年2回発行、及び4半期毎の事務局だよりの発行
シルバーの活動状況や会員の活躍を掲載します。また、事務局だよりにお仕事情報等を積極的に発信します。
- (2) 月刊シルバー機関誌の配置
全国組織であるシルバー人材センターの理解を深めてもらうため、毎月シルバーの機関誌「月刊シルバー人材センター」を公共施設や金融機関等7か所に配置します。
- (3) 普及啓発活動
街頭宣伝活動として市内のショッピングセンター等2か所で仕事募集と会員募集のチラシや粗品を配布して普及啓発を図ります。

(4) 「シルバーサロン」の開催

65歳以上の一般市民対象の講習会

「シルバーサロン」を開催して、新規入会者の獲得に繋がります。

《新会員の入会促進》

人口減少の中、一定の新規入会者はあるものの、加齢による病気等での退会者が年々増加傾向となり、会員増強が厳しい状況です。シルバー事業の発展には地域のニーズに応えられる会員拡大が不可欠であり、増強に繋がる対策を講じます。

- (1) 会員が新規入会者を紹介し加入に繋がった場合、紹介者にふれあいショップ「おいでや」利用助成制度を導入し、紹介運動を展開することにより入会者の増加に繋がります。
- (2) 夫婦又は親子会員会費割引制度を導入し、一戸複数会員のメリットを活かした入会者の増加に繋がります。
- (3) 市広報や新聞広告への会員募集の記載やチラシの配布により、入会促進に努めます。
- (4) 会員相互の交流と親睦を図るため、会員互助会の活発な活動を進言し、活動に対しての助成措置を講じ、さらなる連携強化に努めます。

4. 関係機関との連携強化

- (1) センター事業への理解や協力を得るため、賛助会員や関係機関との連携に努め、関係機関が主催するイベントへ参加・協力します。
- (2) 各関係機関、並びに県シ連合や県内のシルバー人材センターが行う事業や行事に積極的に参加して、情報収集や意見交換、研修会の実施に努めます。

5. 健全な運営

- (1) 公益法人として、法令遵守に努め、定款に沿った運営に努めます。また、固定資産・備品・消耗品等適切に管理を行い、経費節減に努めます。
- (2) 新たな独自事業導入の検討並びに、ふれあいショップ『おいでや』運営方針の検討を行います。
- (3) 『自主・自立・共働・共助』の理念の下、全ての発注者から信頼と期待される組織の構築に努めます。